

水稲（うるち）「岩手26号」（準奨励品種）

（農試 県北分場・技術部）

1 来 歴

岩手26号は、岩手県立農業試験場が昭和56年に、「コシヒカリ」の放射線照射を農林水産省放射線育種場に依頼し、その突然変異集団より選抜固定を図った系統である。その後、生産力検定及びその他の特性検定を経て、極早生品種の中では良質・良食味であり、かつ耐冷性がすぐれることから、昭和62年から奨励品種決定予備調査、本調査及び現地調査を行ってきた。

本系統は、平成元年でM9世代である。

系 譜

コシヒカリ ————— 岩手26号

乾燥種子に γ 線20kRを
1kR/時間照射処理

2 特性の概要

- (1) 出穂、成熟期とも「マツマエ」並の極早生である。
- (2) 稈長は「マツマエ」よりやや長く、穂数は少ない、短稈偏穂重型品種である。
- (3) 収量性は「マツマエ」よりややまさる。
- (4) 耐冷性は「マツマエ」よりやや強く、「コチミノリ」並である。
- (5) 耐倒伏性は「マツマエ」よりやや劣るが、「コチミノリ」並の「やや強」である。
- (6) いもち耐病性については、真性抵抗性遺伝子は不明であるが、圃場抵抗性は「マツマエ」、「コチミノリ」よりまさる。
- (7) 玄米は「マツマエ」、「コチミノリ」より小粒だが、外観品質は同等である。
- (8) 食味は「マツマエ」よりややまさる。

3 岩手県で準奨励品種に採用する理由

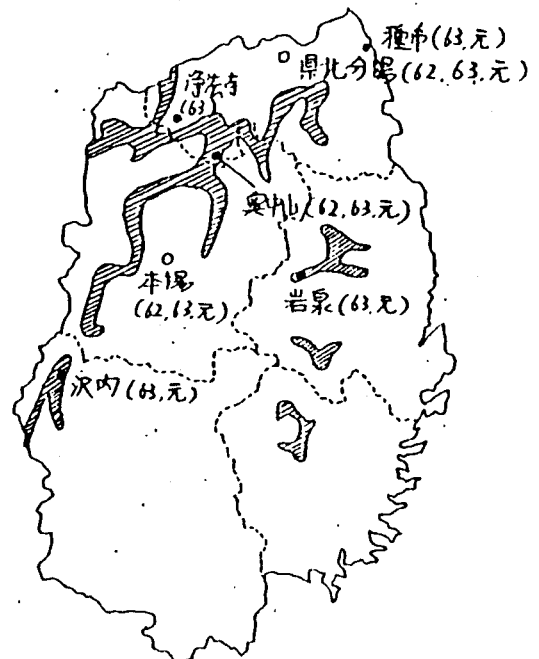
県中北部高冷地では、昭和50年に準奨励品種に採用された「マツマエ」が作付されているが、品質・食味及び耐冷性（障害型）にやや難点があり、また種子を北海道に依存していることから、これに代わる本県独自の極早生品種が強く要望されている。

「岩手26号」は、昭和62年から奨励品種決定調査及び現地調査に供試して検討した結果、品質面ではほぼ「マツマエ」並ながら、収量性、耐冷性において「マツマエ」よりまさり、食味も良好なことから、県中北部高冷地の稲作の安定化と品質向上を図るとともに、併せて、本県独自品種による種子の安定供給を実現するため準奨励品種に編入する。

4 適応地域

県中北部高冷地（標高350～450m）で、現在「マツマエ」が作付されている地域及び「マツマエ」の栽培適地。

普及見込面積 250～350ha



○試験場 ●現地調査実施場所
〔（ ）内は供試年次〕

図 適応地域及び現地調査実施場所

5 栽培上の留意事項

- (1) 中・成苗の葉齡増加苗を用いるなど健苗育成に心がけるとともに、初期水管理に留意して、生育の促進を図り、穂数の確保に努める。
- (2) 耐倒伏性は「マツマエ」よりやや劣るので、過度の多肥栽培は避け、基肥窒素量は「マツマエ」並とする。
- (3) いもち病については、圃場抵抗性は「マツマエ」、「コチミノリ」よりまさっているが、穂いもち検定及び現地調査の一部において発病が認められたので、防除基準にしたがって適期防除に努める。
- (4) 刈取適期は、積算平均気温で900～1000℃程度と思われ、籾の黄化は緩慢な方なので、刈遅れによる品質低下に注意する。

6 試験成績

品 種 名		岩手26号		マツマエ		コチミノリ	
早 中 晩 草 型		極 早 生 偏 穂 重 型		極 早 生 中 間 型		早 の 早 偏 穂 数 型	
芒の多少・長短 粒 着 密 度		無 密		極稀・ 短 や や 密		極稀・ 短 密	
いもち 抵抗性	葉いもち 穂いもち	— —		P i - k 中 強		+ 中 中	
対 倒 伏 性 耐 冷 性 穂 発 芽 性 品 質 味		や や 強 や 強 や や 難 中 中 や や 良		強 や や 強 やや難～中 中 中 中		や や 強 や 強 や や 難 中 中 中	
試 験 場 所		県 北 本 場		県 北 本 場		県 北 本 場	
標 肥	出穂期(月日)	8. 3	8. 4	8. 4	8. 4	8.11	8. 9
	成熟期(月日)	9.19	9.15	9.21	9.15	10. 1	9.24
	秆 長 (cm)	70.6	70.4	68.3	65.1	70.0	70.6
	穂 長 (cm)	16.6	16.1	16.1	15.1	17.4	16.7
	穂 数(本/㎡)	446	495	523	546	485	542
	玄米重(kg/a)	52.7	63.8	53.6	61.5	61.3	64.9
	対マツマエ比(%)	98	104	100	100	114	106
多 肥	出穂期(月日)	8. 4	8. 5	(8. 3)	8. 5	8.11	(8. 7)
	成熟期(月日)	9.20	9.12	(9.26)	9.12	10. 2	(9.15)
	秆 長 (cm)	74.0	69.8	(73.0)	65.0	73.8	(75.3)
	穂 長 (cm)	16.9	16.3	(16.6)	15.2	17.4	(17.1)
	穂 数(本/㎡)	471	478	(542)	542	534	(540)
	玄米重(kg/a)	53.5	(62.2)	(60.3)	(60.2)	63.2	(61.3)
	対マツマエ比(%)	—	—	—	—	—	—

注) 1. 県北分場試験成績

昭和62年～平成元年 3か年の平均(マツマエの多肥は平成元年成績)

2. 本場試験成績

出穂期～穂数: 標肥 昭和62年～平成元年 3か年の平均(コチミノリは昭和62年、平成元年2か年の平均)

多肥 昭和63年、平成元年 2か年の平均(コチミノリは平成元年成績)

玄米重、比: 標肥 昭和63年、平成元年 2か年の平均

多肥 平成元年成績